

## 木村大作監督に「測量の日」功労者感謝状

去る6月7日(日)、つくば市の国土交通省国土地理院にて、「測量の日」における功労者感謝状贈呈式が行われた。

この功労者感謝状は、「測量の日」行事の一環として、測量・地図に関する普及・啓発に功績のあった団体または個人に対し、国土地理院長から感謝状を贈呈するもの。

今回の受賞者は●木村大作(映画監督・カメラマン)、●今尾恵介(地図研究家、日本国際地図学会評議員)、●太田弘(慶応義塾普通部教諭、フェリス女学院大講師)、●越

智熙(自然体験教育企画ボランティア)、●多田弘美(高松高等予備校講師)の5名。

今回は、広く一般の読者向けに活発な地図関連本の著作活動を繰り返している今尾恵介氏やGISを使った地理教育で有名な太田弘氏などに加えて、「測量の日」実行委員会(村井俊治会長)が推薦した映画「劔岳 点の記」の木村大作監督が選定を受けた。木村監督は6月20日の封切の前に全国キャンペーン中で、代わりに坂上順・東映京都スタジオ社

長が出席された。坂上氏は、映画「劔岳 点の記」の製作を木村監督が東映に持ち込まれたときに、当時常務取締役として製作を進めた功労者としても知られる。いわばこの映画の生みの親の一人。

贈呈式当日は「測量の日」にちなんだ、国土地理院の施設公開もおこなわれていた。親子連れなど多くの見学者が訪れる中にまじり、各氏は「地図と測量の科学館」や、地球広場などを小牧院長自らの説明で見学して回られた。



感謝状を受ける坂上 順氏(木村大作監督の代理)



功労者の方々(前列)

## 日本測量協会 中部支部が支部創立30周年記念式典を開く

平成21年5月27日(水)、名古屋市中区栄の「中日パレス」において日本測量協会中部支部創立30周年記念式典が開催された。

式典には、来賓として、国土交通省中部地方整備局長、国土交通省

国土地理院中部地方測量部長、愛知県建設部技監、名古屋市緑政土木局用地部長をはじめとした多数の来賓があり、日本測量協会の本部から村井会長、支部からは大根支部長をはじめ支部役員、特別会員、正会

員、準会員など240名の参加で盛大に開催された。

式典では、大根支部長の「測量業務は社会資本整備の基礎データを整備する重要な仕事です。地球環境が変化して自然災害が多発して

います。真の福祉は災害のない国づくりです。そのためにも測量のポテンシャルを更に高めていく必要があります」という式辞にはじまり、来賓祝辞、村井会長挨拶、ならびに永年に亘り支部役員として貢献頂いた3名の方々に対して会長感謝状並びに支部活動に貢献頂いた8団体に対して、支部長感謝状が贈呈された。

式典に引き続き、6月20日全国一斉公開された映画「劔岳 点の記」の木村監督による「劔岳点の記の撮影物語」と題する記念講演会が開催された。木村監督は、出席している学生会員達に大切な仕事ということを認識して、がんばるようにというエールを送るとともに、この間の映画製作の様々なエピソードが披露され、会場の皆さんの映画につ

いての関心と興味を更に盛り上げられていた。

講演のあとには意見交換会が開催され、地方整備局長から「わが土木・建設の業界でこんなに元気な会合は久々でした。木村監督に元気をもらいました」とのスピーチも飛び出し、多数の来賓の方々のご出席を頂き、和やかなうちに終了した。



大根中部支部長の開会式辞



大きなアクションで熱弁する木村監督

## 日本測量協会 北陸支部の総会を開く

平成21年5月26日(火)、富山市の名鉄トヤマホテルにおいて日本測量協会北陸支部(鹿田正昭支部長)の総会が開催された。

総会には、来賓として、国土交通省国土地理院北陸地方測量部長、富山河川国道事務所副所長、県農林水産部をはじめとした来賓があり、日本測量協会の本部から星埜副会長、支部からは支部役員、特別会員、正会員などの参加で開催された。

鹿田支部長の「新任のご挨拶」にはじまり、星埜副会長挨拶のあと、総会議事は進み、事務局提案は滞りなく了承された。

総会に引き続き、映画「劔岳 点の記」に測夫・木山竹吉役で出演された俳優のモロ師岡さんが、山岳ロケ現場のエピソードを披露し、映画への関心を呼びかけ、めったに体験できないオトコばかりの山小屋合宿エピソードや俳優さんの横顔などとおもしろおかしく語られた。

日本測量協会の支部総会と

しては珍しいことであるが、地元テレビ局3社、新聞社も取材があり、翌朝の北日本新聞、朝日新聞に写真付きで報道された。



モロ師岡氏の講演